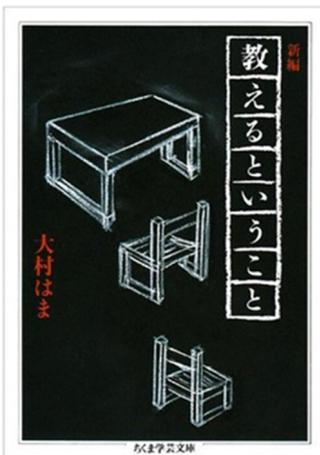


大村はまが伝えたい『教えるということ』

中等国語教育の実践・研究者としての大村はま氏は、昭和の始めから、作文・書くことの指導を中核として学習者の思考力・自己学習力の育成をはかってきた。戦後は進んで新制中学校に移り、机も椅子も、教科書も黒板もない教室で、新聞・雑誌の切り抜きを学習材に、ほんものの国語の力をつける「大村単元学習」を開拓してきた。また、専門職としての教師はいかにあるべきかを提言し、教育にかかわる人に向けた講演活動なども積極的に行い、教えるということはどういうことかを訴えてきた。その記録から生まれた著書より、数冊紹介いたします。

●大村はま『新編 教えるということ』 ちくま学芸文庫

50年に及んで一教師として教育実践の場に立ち、退職後も新しいテーマを研究・発表しつづけてきた著者が、本当に“教える”ということはどういうことなのか、具体的な数々のエピソードを通して語った表題作「教えるということ」をはじめ、「教師の仕事」、「教室に魅力を」、「若いときにしておいてよかったと思うこと」を収録。プロの教師としてあるべき姿、教育に取り組む姿勢について、きびしくかつ暖かく語る。教育にかかわる人をはじめ、教育に関心をもつすべての人々、とくにこれからの社会を担う若い人々に贈る一冊。



目次

教えるということ 9

長い教師生活のなかで 11

よき師よき友に恵まれて 11

信州の教育的風土のなかで 15

教師の資格 26

研究することは「先生」の資格 27

二十代のアイデアをたいせつに 33

教えない教師 37

「読んできましたか」という検査官 37

黙って書かせる批評家 48

無責任な教師 55

「一生懸命に指導したんですけど」 55

「あなたのお子さん、勉強が足りませんね」

59

ほんものの教師 62

尊敬される教師 63

子どもに乗り越えられる教師の喜び 64

教師の禁句「静かにしなさい！」 72

覚悟を新たに 78

教師の仕事 81

教師志望の動機 83

教師に憧れて 83

動機はともあれ 88

「子ども好き」だけではダメ 90

素人教師と玄人教師 95

「いいひと」なんてあたりまえ 95

禁句「わかりましたか？」 98

どちらが教師かわからない 101

専門職としての実力 104

真の愛情とは 108

職業人としての技術 110

素人でも言える指示する言い方 110

専門職としての技術—書かせるくふう

114

タネさがしの苦勞 123

身をもって取材してみせる 127

教材の発見 135

職業意識に徹する 138

職業人の目で見ると 138

問い方を知らないマンネリ教師 140

一人で判断するようにしつける 144

研修によって技術をみがく 150

教師の仕事の成果 154

仏様の指 154

教師の本懐 157

教室に魅力を 161

教室の魅力とは 163

どの子にも成長の実感があること 163

「劣」に重みをかけすぎ、「優」を忘れていないか 167

楽すぎる教師の姿 173

単元学習の魅力 178

自分自身をいっばいに伸ばす学習 178

優劣を超え、成長の喜びを知る学習 186

指導者こそ十分な用意を 191

精いっぱいの世界へ 195

魅力的な学習のひとつとき 200

魅力を生まない教室 206

魅力をうしなわせることば 207

魅力を失わない話し合い 208

言ってほしくないことば 211

同じ教材をなぜ二度使わないか 213

若いときにしておいてよかったと思うこと 219

その子の気持ちになり代わって 221

うまくいったと思うことを書き残しておく 224

自分の批評の批評を大切に 226

「研究授業準備日誌」 227

自分の仕事を愛し、自分の足跡を愛す

229

文庫版あとがき 231

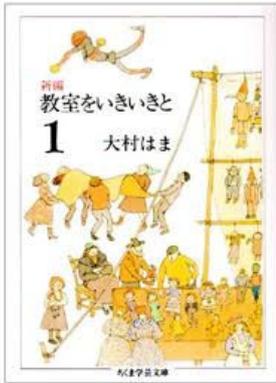
●単元学習の魅力 178

<自分自身をいっばいに伸ばす学習 178>

同じ教材、同じ方法、これがいちばんまずいと思います。スタートラインが一緒で、同じ教材で、同じ方法でしたら、同時にゴールにはいかないのが、あたりまえです。ですから、これがいちばん、劣等感だとか、優越感だとかをつくるでしょうし、劣等感や優越感はその成長を本気でみつめることの妨げになります。ほんとうの成長の喜びを得させられないことになってしまいます。ひとりひとりに適切な学習をとしたいと思います、どうしても、教材がいろいろになってしまうのです。いろいろ使うのが、いいということではありません。そういう発想で、創ってくるもの、創られてくるものではないと思います。単元は、だいたい生まれてくるものだと思います。子どもを見ている教師が、生徒と一緒に生みだしてくるものだと思います。

●大村はま『新編 教室をいきいきと1』ちくま学芸文庫

気持よく締まった教室、いたわりのある教室、子ども一人ひとりの能力を豊かに伸ばす、そんないきいきとした教室は、どうしたらできるのか。教育に全身で打ち込み、創造的で新鮮な授業の地平を切り開いた著者が、自らの体験より、とっておきのことばと工夫を語る、実践的かつ画期的な教育書。教室でのことばづかい、子どもたちにするお話の種といった毎日の生活から、グループ学習や作文学習・テストなど授業の実際まで。先生を目指す若い方はもちろん、お母さん方にも必読の一冊。



目次

まえがき

教室の毎日から 19

子どもの姿を知るのが第一歩 20

教師として、子どもを知ること/思うようにならなくて当たり前

ほめること、しかること 26

まず、ほめる種をまくことから/ほめたいものが出てくるような指導を/芦田先生のカン、カンのお話/あやまちを責めるよりも、まずカバー/叱ることばよりも、おもしろい授業を

いたわりのある教室を 38

体をいたわることは、心をいたわること/効果を上げるためにも休憩を

教室をしつける 46

機会をとらえて雰囲気を引き締める/やれば成功できることから、しつけていく/うるさいおせっかきを焼かせない/小さなあやまちを責めてもむだ/忘れ物を責めて何の力がつか/「えーと」の口癖を直すための小道具/プリント原紙を初めて書く時のしつけ

教室でのことばづかい 67

言いたくないことばー私の禁句集/子どもに向かって「忙しい」と言わない/「教えてやる」と「教えてあげる」/「ほかに」でなく、発言を誘うことばを/ことばをかけて、話し合いの雰囲気づくりを/子どもの答は、どんなものでもまず受け取る/「声が小さい」と言わずに工夫を/子どもの話をその場で言い直すのは残酷/小言を言うのは心身爽快な時だけに

お話探しの工夫あれこれ 87

近所のお店で話の種を拾う/写真屋さんのことば/新聞から話の種を拾う/名前にまつわる話を用意する/「あいうえおの話」と「三つの話」/子どもの気持になって探す

授業を生かす話しことばの修練 100

教師の話から授業は始まる/子どもを引きつける話し手に/自分で自分の話を鍛える/教室の片隅にテープレコーダーを/若々しい姿勢と発声を

マンネリでない発問の工夫 110

黒板に張りつかずに生徒の中へ/はっとさせる問いかけを/正答は子どもの口から/問いによって、子どもの頭を活性化させる/同じ形の問いかけをしない

グループ学習について 125

グループ学習をどう考えるか 126

目的をはっきり見つめて/目的に合わせた自由な編成を/優越感も劣等感もないグループ作り/能力別グループ、一つの指導例

グループ編成の方法 143

単元の目標ごとに問題づくり/子どものタイプを見きわめて

グループ運営の小さな工夫 147

一グループ何人が適当か/グループ活動の報告用紙/ABCD、すわり方と役割分担

話し合いの学習 153

話し合いは聞き合いである 154

無言と不参加とは別のこと/「全員が発現する」のは可能なことか/すぐ発言できる子と、なかなかできない子と/型にはまったことばを言わせない

話したくてたまらない話し合いを 161

「話したいこと」のない話し合いなんて/話す種を持たせる準備時間を/安易な「いっしょに考えよう」は指導ではない

発言を指導するあれこれ 166

分け与える話の種を、教師が持つ/司会のことばをリードする/話し合いの中での指導ープロンプターとなって/交通整理をして話し合いを育てる

十分に話し合える形式と題材 175

ゆったり安心して聞いて考える/話したい人だけで話を盛り上げる/グルー

プで話し合いをリレーする/教師が消化している題材を/「ごっこ」ではなく処理できるものを

ことば・語彙の学習 189

機会をねらって、ことばを教える 190

「たいへん、くだけたお話」/「長年、丹精したバラの花」/「教えたいことば」を胸に持つ/問答によってことばを指導する/「よくできないと思いますが…」/「短いですが、これで……」/作りもの場では、ことばは育たない

ことば遊びについて 211

文学の指導について 215

感動を体験させるために 216

じかに作品にふれる体験を/味わう力と表現する力は別のもの/たつぷり時間をとって、安心して読みひたる/コピー機があれば準備は簡単/その仕事の日あてにぴったり合った工夫を

目的をまっすぐ見つめて 227

「あらすじを言ってごらん」はかわいそうなこと/小さな問いを用意して、あらすじをつかむ/答え合わせの発想から抜け出して/わからない子には、別の機会をとらえて指導する/自分の体験を掘りおこして考える/新鮮な感動が指導の基礎

はずみのある作文学習に 241

どうしたら作文を書くようになるか 242

書かせることの目的は何なのか/書きたいことを持たせるために/題材集め用紙を作って/提出はこんなふうに/処理は手早く、弾みをつけて/題材の交流をはかる/提出しない子も気にしない

出された作文をどう指導するか 256

二百編の作文を指導する/「先生への手紙」について/「先生への手紙」と作文の例

生徒作文から新たな学習を展開する 273

「先生への手紙」から学習資料を拾う/書き出しを考える習慣を身につける/適切な資料を選ぶポイント/授業の進め方/指導者が発言する時には/プリントを渡す時に

教師が筆をとって文章を導きだす 286

書き出し文を書いて/書けないことを責めることばはむだ/書くことで書くことを教える/意見文の題材を取材してみせる/どうやって題材を紹介するか参考となる文章を草してみせる/スタートでつまづかせない/書いているうちに教師も慣れる/教室が活気づいてくる指導法/調査、資料もみんなと一緒に

テストと宿題 303

ペーパーテストについて 304

評価とはどういうことか/ペーパーテストをどうとらえるか/テスト問題/テストを生かすための工夫

54321の意味について 328

ニコニコ、メエツの符号として/その時々々の観点によって

宿題の考え方 331

大事な学習のスタートは教室で/宿題=課された学習は避けたい/宿題を課すことから落ちこぼれが生まれる

机間巡視とヒント 337

机間巡視をどう位置づけるか 338

歩きながら、教師は何をするか/話し合いの準備の時間一進行を考えるのは教師/話し合いの準備一どの子が何を発現したいのか、発言できるのか/教師としての仕事を可能にするための工夫ととらえて

子どもの状況を判断しながら 343

子どもの作業の邪魔にならないように/子どもがどんな状況にあるかを見めく/言い過ぎに注意する

十分な準備の末に 347

「自由に」「自分で好きなもの」と言うときには/本当によいものに気づかせる指導を/「自由」と「野放し」とは別のこと/指導者が成案を持ってから、授業が始まる/たとえばこんなヒントを/「書くことがない」辛さを味わわせない/教師が教室で楽なはずがない

●大村はま『新編 教室をいきいきと2』 ちくま学芸文庫

「毎日毎日、子どもたちがそれぞれに自分の成長を自覚できるような教室であつたら、…学ぶ場所としてできた教室、そこでの学習が最大の魅力をもつようにならないかならぬと思います。」(まえがき)教室を明るくする小道具のこと、文学作品の指導、また、資料や教科書の使い方から指導案まで、授業の現場で実際に子どもを活気づけ、かつ自分も本当の教育者となるために教師はどうしたらよいか。とっておきの工夫と小さな心づかいを丁寧に語った教育に関わる人すべての必読書。



目次

まえがき

続・教室の毎日から 19

教師の書くこと 話すこと 20

板書は少なく丁寧に/人の前で書くための練習を/「箸の上げおろしまで……」は逆効果/「ああ困った、抜かした」のお話/お話は、題をつけてメモをとって/プリント資料には必ず題を/教えたいことを心にためておいて/板書を利用した小さな学習/ゆとりを生み出す「ことば」の学習

教室で子どもを悲しませない 37

指摘すべきまちがいと、黙っておくべきものと/味わう力と朗読する力は別もの/意に染まない指名をしてしまわぬように/張り合いのある明るい発表を生みだすために

明るい雰囲気をつくる小道具あれこれ 52

文房具の箱を各机に用意して/使いやすい原紙から、豊富な資料が生まれた/子どもに使わせる器具と使わせない器具を分けて/紙テープとカードとサインペン/こんな文房具があつたら……/文房具を使うことから多彩な学習の場が/文房具をめぐる明るいやりとりを大切に

どうして学習の効果を上げる 70

学習の案を立てるのは誰か/予定を立てることで、自分を知る/掲示には授業時間の節約だけでなく効果もある/成績品のぞんざいな扱いは心を荒らす/掲示した内容は、教室で話さない

教師と子どもの立つところ 81

勉強に打ちこめるのはこんな教室/まず、教師が平静でいること/「大丈夫、肩をもんであげようね」/「ロウソクは静かに燃え」/急にうまくなることは少ない/やったことを喜ぶ気持を態度に表わして/レントゲンのように、子どもの頭の中まで見通して/子どもは意地悪をしたがるもの/思うツボにはまらぬ対応を/センセイ、シネ/大人としての指導を/新学期の前に名前を覚える/先生ごっこのお話し方/やわらかな話し方を自習する

本と子どもを近づける 108

本を話題にし、生活の中に本があるように/先生のおすすめの、「大村文庫」/紹介のことばにも気を配って、マンネリにならぬよう

教室の小さな工夫 117

壁新聞の工夫—持ち寄り仕事はこうやって/コピー時代でも複写便箋は便利なもの/大型封筒を使ってプリントの整理保存を

いろいろな指導方法をめぐって 123

教室に合わせて変化のある展開を 124

TPOに合わせて指導法を使い分ける/根こそぎ真似て身につける/心を耕すような問答を/対談形式で、話し、聞く指導

評価を指導に生かす 131

評価は、的をしぼって要領よく/観点を決めるには/次の学習の指針となるような評価を

改まったことばづかいをどう学ぶか 138

子どもにとっての「改まった場」とは/まず、雰囲気づくりから/人に合わせた敬意の表現/対談によって、ことばづかいを学ぶ

話し合いを成功させるために 145

話し合いの価値はどこにあるか/考えることと発言すること/話せなかった暗い気持ちを解きほぐして/口を開ける雰囲気になっていたか/話し合いは時間を限って/学習グループにリーダーが必要か/みんなが司会をできるところまで/指導計画によってカバー/会議のメンバーの責任を教える

文学作品の指導について 159

「初発」とはどういうことと、とらえるか/子どもに書かせるのではなく、教師の観察こそ/教師の眼でとらえたものが授業の根本/感動した場面を読み合うときの心づかい/文学作品について話し合うだけの力がついているか/話し合う力をつける学習を個別に計画/本の帯を書かせる学習について

朗読をめぐる 172

友だちの朗読に聞きほれる態度を/子ども同士で比べ合うことは避けたい/発表はひとりずつ

スピーチを学ぶ 179

長期間にわたって少しずつ練習する/出来を比べ合うのではない学習に/まずは教師が雰囲気を作って/いきなりスピーチは中学生には無理/スピーチの後を楽しく

思いやりある聞き手を育てる 185

わからないことは、いつ質問すべきか/言いまちがいと内容のまちがいを区別して

教科書の手びきを使うには 189

「学習の手びき」は問題集ではない/どの子に、どの間が必要かをはっきりさせて/教師が心の中に「手びき」を用意して/まず、ことばを言いかえて/自作の手びきに至る道

資料について 199

教科書をどう考え、どう使うか 200

それぞれの教室に合った教材・資料を/今日、新たな感動を持ったものを/もつと自由に教科書を使いこなしたい/教科書に親しむ

一人ひとりに合った教材で 212

同じ材料・同じ資料では差がつくのは当たり前/それぞれ別の本を読んで、話し合う/本を渡す時も演出を考えて/子どもを不愉快にさせない個別指導/「自分しか知らないこと」をうまく発表させる/学びひたる学習体験を/資料を粗雑に扱わせない工夫

資料探しは、幅広い読書に始まる

図書館にあるものはすべて目を通して/材料を探すことに焦らず、白紙の心で読書を/出版社の目録は大いに活用したいもの

毎日の新聞から資料を拾って 231

各紙の表現を比較してことばの勉強を/社説は中学生の教材になりうるか/指導すべきことばの物差しとして/引用したり、ふまえて書かれたりする文献を調べて/何げなく読んだ記事が、お話に結晶する

書店の店頭でアイデアを得る 242

書店通いは大切な仕事だと位置づけて/つねに知りたがり屋でいること/「求めよ、さばば与えられん」が資料探しの秘訣/探し当てた資料を、どう整理・保存するか

手びきについて 247

心を耕すための手びきを 248

教科書の手びきからもう一步踏みこんで/読んだ本の紹介をするための手びきの例/手びきはヒント、問題集ではない

話し合いの手びきは台本ふうに 262

説明ではなく、実体験/グループの話し合いの手びきの例/話し合いがむだ話になってしまうのはなぜか

手びきを作る意味をはっきりさせて 277

読めば必ずわかるものに仕上げる/指示を読み取って仕事を進めるのは、大切な読解力

時間を生み出す工夫 283

授業の中で、どこを省くか 284

省略によって、授業の効果を上げる/一、二を丁寧にやったら、三～五は省く/飽きた心は、何も吸収しない/焦らず、別の機会にゆずって/狙いを定めて、思いきって進める/ちょっとした骨惜しみが時間を奪う/むだな時間とはどういうことか/作業の中で生徒と親しんでゆく

教師の生活の中で 299

自分の生活を設計する/私の生活計画表/忘れ物を防ぎ、心をのびのびと

役に立つ指導案とは 309

計画なくして成果なし 310

計画書を書いてみることから発見が/「何時間目にどの組で話したか」をはっきりさせる/学習の流れがみえるように/「あとでゆっくり」ではなく、その場でメモを/輝く発見は教室でこそ/実際の役に立つ指導案とは

●大村はま 『日本の教師に伝えたいこと』 ちくま学芸文庫

いきいきとした教室、これは全部の先生の悲しいほどの願いですーひとりひとりが確実に成長している実感がある、一所懸命生きている教室、そんな教室のために、教師がなくてはならないことは何か。子どもたちが打ち込み、深く心に刻むことができるような授業のために、単元学習の実際、漢字学習の具体的な方法、読書、目標のさだめかた、しからぬ工夫、話し合いなど、実際に著者が教室で行ってきた工夫を紹介する。育てる迫力に満ち、畏れながらも力を尽くす一子どもたちの教育にかかわるすべての人に贈る一冊。



目次

いきいきとした教室 9

- いきいきとした教室とは 10
- 言いたくないことば 12
- ことば・語いの学習 13
- テストと評価 20
- ひとりひとりをとらえる 23
- 学力をつける教師 27
- もっと教えよう 29
- 研究する教師 37

身をもって教える 43

- 新しい内容、古い教え方 44
- 身をもってタネを探す 46
- 意見文を自分で書く 54
- 真実のことばを育てる 60
- 読みひたる大切さ 64
- 話し合いへの参加 70
- 話し合うところ 75
 - 「話し合い」の大切さ 76
 - 問答のむずかしさ 82
 - 真実のことばが使えるように 87
 - 比較せず聞く 93
 - 話し合いで傷つけない 97
 - 話す中身をもたせる 100
 - 話し合いのなかで、話し合いを育てる 104
- しからぬ工夫 106
- シナリオを書く大切さ 109
- 話さないのと話すことがないのとは違う 112
- 新しい時代に向かって 118
- 目標をさだめて 123
 - 単元学習への思い 124
 - この単元の発端 126
 - アイヌの発見 131
 - 子どもに頼りすぎない 135

- 育っていく単元・しぼんでいく単元 142
- 効果を焦らない 145
- ふたつのエピソード 148
- 国語科としての目標をはなさない 154
- ことばを増やしていく 165
- 単元学習のおもしろさ 169

国語教師に望まれること 173

- 「あきたこまち物語」を単元に 174
- ひとりひとりを大切に 182
- 教材の用意 185
- 興味をもたせる 186
- 基礎学力を作る 190
- 目標・目的をもって 192
- 筆まめになるように 196
- 書くために必要な力 199
- 教師の工夫 202
- 漢字を覚える 208
- 人を育てるもの 212
- 子どもを尊重する 218
- 研究会の功罪 222
- 読書指導と読書生活指導の違い 224
- 読書感想文 228

あとがき 235

解説 苅谷剛彦 241

●いきいきとした教室 9

<ことば・語いの学習 13>

基礎学力はまず漢字から、と思っているのではありませんが、漢字を身につけさせること、漢字を使いこなせるようにすることは、国語科の教師の大事な仕事だと思います。漢字を一生忘れないように教えないと困ります。それを、「よく復習しておきなさい」「しっかり勉強しておきなさい」などと、「なさい」「なさい」ということばを言わないで、確かに漢字を子どもの心に刻むことはできないでしょうか。漢字の学習といえば、漢字のべた書き、何べんも何べんも書かせる、たくさん書かせる、それをやらせなかった教師は、まずいなかったし、いないのではないのでしょうか。私たちは、とても忘れんぼうですけど、忘れないことと云ったら、また、とつても忘れないものです。心に刻まれると忘れません。それはどういふ時かと考えてみますと、ある感動をともなっているときです。ですから、漢字一字を子どもの頭に入れるときに、ある場面があって、感動とまでいかななくても、おもしろいと思う、珍しいと思う、感心する、とにかく、心が動く、いきいきと動いている、そういう状態のところへ漢字が入っていたらいいのではないかと思いました。それで、一字ごとに、場面を考えたのです。小さな文章を作りました。

●身をもって教える 43

<新しい内容、古い教え方 44>

この頃、単元学習の研究をする方がだいぶ増えて、そうしてかなりあちこちで発表があるようになりました。そのわりには、教室の実際は単元的でもなく、それから単元学習のよさにも、気づかれていないようです。案を見ると、なかなかいい案なのです。ところが、そのよい案・ゆき届いた案を、いよいよ子どものところに持って出て、学習を始めると、教師のすることも、言うことも、別に以前と変わっていない。単元学習の新しい案にふさわしい、新しい方法ではない、という状態になってしまう。

「今日はどういふ予定でしたか」とか、そういうことを子どもに聞いてみたり、子どもに目標を説明してみたり、それから「読んでみましょう」「書きなさい」「話し合ってください」「分かったか」といった種類の、使い古された、なんの感動も子どもに呼ばないことばが、教師の口からどんどん出てきます。ですから、新鮮な案があっても、やる人のやり方というのが、ぜんぜん昔と違ってない、新鮮な魅力になっていないのです。単元学習を進めるには、単元学習をやる技術が必要です。単元学習というのは、もっと「身をもって指導する」ことなのです。

●話し合うところ 75

<話さないのと話すことがないのとは違う 112>

頭のいい子で、考えが深く、じいっと考えることが大好きで、それに夢中になって発言するのを忘れるという子がいます。そういうとき、発言が弱かったような言い方をすることは、これはまたたいへん傷つけることです。話せないことを苦にしたり、重荷にしないよう、しっかり考え、勉強しているなら、むりに話させようと思わない方がいいと思います。発言しなかったことを失策だったように思う、かわいそうな繊細な子がいるのです。そういうときには、たいてい子どもから言ってくるのですが、言ってこなかったら教師から声をかけて、「あのとき考えていたことは、何だったの」と聞いたり、「私、あのときね、何か言うかと思った。言ってくれるといいなと思った。言ってくれたら、もっとクラス全体の話し合いが深まったと思う」と、そういうふうなことを言ったこともあります。国語の時間でないときに、自分は口下手だというようなことを言った子どもがいましたので、「そりゃああそうかもしれない。けども、言うことがないよりも、ずっとまし。言うことがあったけど、言わなかったんでしょ。言うことがなくては、ちょっと困るけれど、あってもちょっと言えなかったんでしょ。そんなことかまわないし、相手によって言いたくないことだってあるから、それはいいけれど、ただそういうふうやっていくと、世の中を生きていくのには、世の中のためになる度合いが少し足りなくなるんで、それだけ幸せでないってことは覚悟しなければね。それは、サッと発表して生きていくのと、黙って生きていくのでは、多少寂しい思いをすることが、言わなかった罰みたいなの、あるかも知れないわね。それを覚悟すれば構わないですよ」そう言って、力いっぱいいたわるようにしました。

●目標をさだめて 123

<単元学習への思い 124>

なぜ単元学習を始めたか。これは、私の動機から言いますと、「戦争」ということだと思います。あの日のみじめな思い、自分だけでやったわけではなくても、自分が子どもたちを戦争に追いやった一員であり、どんな教育がどんな人を育てて、どんなふうになってどうなったか、それを見て、そのみじめさのまっただなかに一所懸命になって生きて、戦争が終わったときの、あのやり切れない虚しさは何とも言えませんでした。何とかして新しく人を育てていきたい、そういう願いがあったと思います。そこから、単元学習は、出発しているのです。ですから、単元学習は、何かを否定してではなく、何かを新しく加えようとしているのです。

●国語教師に望まれること 173

<ひとりひとりを大切にす 182>

教育はあくまでひとりひとりを育てることで、個人個人の問題です。ひとりひとりを育てるには、まず、ひとりひとりを知ることです。ひとりひとりを捉えていなくては、それに応ずる指導ができるわけがないと思います。

<教材の用意 185>

子どもが見えてきた場合、どうしても同じ教材・同じやり方では学習を進める気になれません。同じ部屋のなかで勉強を始める子どもたちの、いわゆる勉強ができるできないぐらいの違いならいいのですけれども、各々の細かい違いに応じようとしますと、教材はどうしても多くなります。そうやって適切な方策がとれれば、子どもはよく伸びていくでしょう。それが適切でなければ、伸びるものも伸びなくなるわけです。その子を捉えていれば、この子にはこれを、あの子にはあれを、という考えが自然に出てきます。材料が多くなるということは、そういう必然性があるのであって、数がたくさんあるのが単元学習ということにはならないのです。

<漢字を覚える 208>

私は、漢字は何遍も書いて覚えるというのは一種の迷信のようなものではないかと思っていました。しっかり見ることができると子どもが一番よく覚えます。漢字テストのコンクールのようなものがありました。その時に一番になった男の子に、小学校五年生ぐらいでしたか、新聞社がインタビューした記事が出たことがあります。その子はぜんぜん書いたりしないのです。ただ毎日、新聞を丁寧に読んだというのです。それによって字が頭にすっかり入っていたのか、優勝になったそうです。そのお父さんも言っていました、書取りをすとか、字を覚えようとか努力することはなかったといひます。ただ新聞を細かに読んでいた、それだけです、と言っていました。漢字は、たびたび目にふれることから覚えますから、本に親しんでいる子どもは字をよく覚えます。漢字を覚えるために、べた書きが今でも多いようです。そういうのは習慣的にやっているの、教師もあまり自信ないのではないか、これが一番いいと本気で思っていないかもしれないと思います。けれども、書取りは何遍も何遍も書くものと思ひ込んで、伝説のように伝わってきて、間違いなく覚えられるようになったのでしょうか。しかし、コンクールに入賞した子がそうだったからというのではないのですが、やはり見て覚える方がほんとうではないかと思ひます。

<子どもを尊重する 218>

子どもの問いに対する基礎的な力をつけるのは、教師の分かっていることは聞かないことだと思ひていました。教師自身が答えをもっていることを、授業の進行上、子どもに聞いたりする。それは相手を一人前に扱わない失礼なことだと思ひます。自分の知っていることを知らないような顔をして聞くのは、普通の人にはやらないことです。子どもだからいいというものではない。子どもを尊重するとは、そういうことだと思ひます。子どもをおとなと同じように大事にする気持ちになれば、自分のちゃんと知っていることを知らない顔をして空々しいことはできないはずですよ。ほんとうに求めて聞き、求めて尋ねるといふふうになります。そういうときに真実のことが育っていくのです。

「世界のともだち タイ」 15

“バンコクの都会っ子 ヌック”

写真・文 ERIC / 偕成社



タイ

バンコクの
都会っ子 ヌック

11歳のヌックはビルが立ち並ぶバンコクに生まれ育った都会っ子です。ヌックは3歳の妹との4人家族。ふたりのおばさんも一緒に6人で住んでいます。ヌックのお父さんとお母さんはそれぞれ別の会社を経営していて、平日はともいそがしく、会社に泊まりこむこともめずらしくありません。リリオバさんがお母さんのかわりにヌックたちの面倒をよくみてくれます。両親は週末には家族がそろふことを大切にしている、みんな大のなかよしです。ヌックはパソコン、タブレット、スマートフォンの3つを持っていて、つかいこなしています。いちばんの趣味は読書。たくさん本のなかにはマンガもありました。音楽が好きで、お気に入りには韓国のポップス。タブレットでいろんなグループのビデオをみえています。ヌックは毎朝6時半におきます。学校へでかけるのは7時20分。朝は大忙しです。常夏の国ですから、制服は夏服だけです。学校までは歩くと30分。大通りの朝晩の混雑があぶないので、ヌックは車で送り迎えをしてもらっています。オートバイや自動車がひしめく道路は、車でも歩くのと変わらない遅さです。タイは小学校が6年、中学が3年、高校が3年です。

ヌックは6年生。ヌックが好きな科目は英語、得意なのは算数。苦手なのは美術。週にいちどボーイスカウト・ガールスカウトの活動もあります。教室の黒板の上には、国王と王妃の写真がかざられています。タイでは国王がとても尊敬されているのです。授業は15時におわり、そのあと16時ごろから19時ちかくまで、ほぼ毎日クラブ活動を行います。お昼ご飯は給食。上級生もみんな食堂にあつまります。わいわいがやがや、ほんとうに楽しそうです。献立は日替わりで、何種類ものおかずから、食べたいものを自分で選びます。くだものやパン、それにアイスクリーム、お菓子の売店もでています。私立の学校なので、遠いところから通ってくる生徒も多く、ヌックたちは学校のあと友だちとあそぶことはほとんどありません。休み時間とクラブ活動だけが友だちとの時間です。土曜日は学校もお休み。ヌックは音楽教室と英語教室にかよっています。午前中の音楽教室は日本のヤマハでした。ヌックは音楽と英語が好きなので、両親はヌックの興味のあることをのばしてあげようと考えているのです。日曜日、ヌックのいちばんの楽しみは、家族全員で買い物にでかけることです。ヌックはたくさんあるお店でいろいろなものをみたりさわったりするのが大好き。お父さんは買いものを一緒にすることで、ヌックの興味のひろがりを知り、ヌックの成長を感じることができるといいます。都会で暮らすヌックの日常は、タイのまた違った一面を覗かせてくれるでしょう。

「世界のともだち ペルー」 16

“アマゾン生まれの ウリーセス”

写真・文 鈴木智子 / 偕成社



ペルー

世界の
ともだち

アマゾン
生まれの
ウリーセス

ウリーセスは10歳のいたずら好きの元気な男の子。アンデス山脈中にある町、クスコに住んでいます。ウリーセスはお姉さん、弟の5人家族。一家はお父さんの仕事のため、アマゾンの村とアンデス山脈の町を行ったり来たり、引っ越しをくりかえしてきました。1年前から、子どもたちがよい教育を受けられるようにと、ウリーセスとお母さんは都会のクスコでの生活をはじめ、お父さんだけがアマゾンの村に残ることになりました。お父さんはレンガ工場の経営など複数の仕事をかけもちし、家族に仕送りをしています。アマゾンの村で生まれ育ったウリーセスはおおらかでよく笑い、遊ぶことが大好き。いたずらをして、ときどきお母さんが学校の先生に呼び出されることもあります。幼いころから、毎日ジャングルで川遊びをしていたので泳ぎは大得意。いま住んでいるクスコはとても寒くて、泳ぐ機会がないことを残念に思っています。そのかわり親せきの家でパソコンや携帯電話のゲームをすることが好きになりました。以前、自然ガイドをしていたお父さんは、ウリーセスが幼いころから海外の動物番組をたくさん見せてくれました。その影響で動物が大好き。将来の夢は、

動物にかかわる職業につくことです。ウリーセスが起きるのは毎朝5時。部屋がとても寒いので、しばらくはベットの中で歌をうたったり、楽しいことを思い出して笑ったりして、時間をすごします。一年中寒いクスコですが、家の中で暖房を使う習慣がないため、多くの家ではコートやマフラーを身につけたまますごします。ウリーセスの学校は、算数や理科、ケチュア語などの授業にくわえ、薬草の栽培を学ぶなど、野外活動を多くとりいれているので、両親がこの学校に通わせたいと選びました。授業料は親の収入に応じてきまる制度になっています。ウリーセスが好きな科目は算数と理科で、授業はグループで調べて発表する時間が多いようです。この学校は、小学校から高校まで一貫した教育をおこなっているそうです。夏休みになると、アマゾンの村へ帰ります。南アメリカでは夏にクリスマスがあるので、親せき一同が集まるのです。アマゾンでは9時をすぎると日ざしが強くなり、暑くて仕事をするのが大変なので、みんな早起き。ウリーセスも朝4時半に目を覚まします。夏休みの3か月間、川で泳いだり、森をかけまわったり、身のまわりのすべてを遊び相手にして、元気いっぱい毎日を過ごします。クリスマスは1年でもっとも大切な行事。おばあちゃんの家には次から次へと親せきが集まってきます。食事は日付の変わる夜中の12時から始まります。クリスマスが終わると新年がやってきます。年が明けるとみんなで順番に抱き合い、今年もいいことがありますようにと、12つぶのブドウを食べて願います。都会と大自然、両方の生活を楽しんでいるお友達の日常が描かれています。(要約:M.K)

アンとアナのものがたり(成長日記)

☆アン：マンネリ化した学習方法を見直す♡

【英語検定3級の壁…くじけずチャレンジ♡漢字検定は7級にチャレンジ♡】



英検3級の勉強を2年生から始め、何度かチャレンジするがなかなか桜咲かず…本人も同じ教材で勉強に少しうんざりし始めていることもあり、単語帳はそのままにして、過去問・文法・重要語句が一体になったテキストを新しく購入した。今までは、私のモットイナイ病が発動し…コピーで取り組んでいたが、今回からテキストにそのまま書き込み、マル付けもカラフルパステル色で大胆に(笑)懐かしの…かわいご褒美シールも復活させ、とにかく“やる気スイッチ”を刺激まくる作戦だ(笑)3年生になり、言動や行動も少し大人っぽくなっているが、まだまだ幼さ残る…うまくハマってくれました。テキストは英会話教室の先生と相談して決めたものを使用。1ページ毎の問題数が少なく、とりに解説や重要語句などのヒントとともに答えが載っている。家で本を使って解いて、塾でコピーを使って再度問題を解く♡今までの積み重ねもあり、サクサク解いていく♡うまくマンネリを脱出できたようだ♡漢字検定7級の学習もスタート♡石川塾で学年の漢字の読みを6年生まで終わらせて、本もよく読むので、漢字の読みに関しては特に問題なくスラスラ解ける♡本人も、「読みは出来る♡」と得意だ。が、書きはそうはいかない。とにかく練習しかない。過去問を解いて、調べて、練習して…。繰り返していくたびに、書ける漢字がだんだん増え、「みてみて～♡今回はこれくらい書けたよ～♡」と喜びを感じている様子♡
1月の英語検定・漢字検定まで努力あるのみ♡

＜写真上：英検3級 できる順 合格問題集 新試験対応版/旺文社

下：小学生のための英検3級 合格単語1200/Jリサーチ出版＞

☆アナ：もうすぐ1年生♡くり上がり、くり下りの計算も得意に♡

【英検アセット4級受験♡算数検定11級にチャレンジ♡】



公文の算数は1年生の内容が終了。清風堂のハイレベル問題集で計算問題を反復練習している。「引き算の方が楽～♡」と引き算ばかりやりたがる。そういえば…長女も同じようなことを言っていたな～(笑)力試しに…算数検定11級にチャレンジすることに♡過去問の解答用紙の記入方法から説明し、解き始めた。1・2回目は大問6に苦戦していたが、一緒に読んで一問ずつ解けば「なんだ！そういうことか！ひとりでする～！」ともう何も申すなとばかりに追いやられる母(笑)そんなコントのような取り組みを続け、一巡したあたりから満点が取れるようになってきた。英語検定アセットの4級は、単語練習・過去問・面接練習を1カ月行い受験した。手ごたえはあったようだ♡英語に関しては、最近スイッチが入り、フォニックスの練習や単語の練習、英会話の動画の真似など自主的に行うようになった。なんでも…将来は“ホテルマン”になりたいそうだ。そのために英語を頑張る♡と俄然やる気だ(笑)この勢いに乗って、英語検定5級の勉強も開始♡来年6月までコツコツ一緒に頑張ろう♡

＜This is Phonics 1
/mpi＞

アンとアナの本棚

『やばい日本史』

本郷和人/和田ラヂヲ/横山一
/滝乃みわこ/ダイヤモンド社



『やばい世界史』

本村凌二/滝乃みわこ/
和田ラヂヲ/亀/ダイヤモンド社



『ねむいねむいねずみのクリスマス』

佐々木マキ/PHP 研究所



『ゆきうさぎのねがいごと』

レベッカ・ハリー /世界文化社



🚲 パパ日記 古い自転車

姉がまだ幼稚園の年長さんだった頃、公園で自転車の練習に付き合った。何度か転んで痛がったりもうやめると言ったり大変だったが乗れるようになった時は親子ともに大きな達成感と喜びがあった。その時にもう何年かしたら妹とも練習だと思っていた。そして今年ついに妹が年長さんとなった。待ってましたとばかりに「パパ、自転車の練習をしよう」とせがんでくる。妹はストライダーで遊んでいたからバランス感覚はつかんでいそう。でもなかなか漕ぎ出すのが難しいようでペダルと悪戦苦闘。やっと漕ぎ出してもすぐに足をついてしまっていて進めない。少し進めるようになるとパパはそっと手を離そうと試みる。その瞬間「パパ、ちゃんと持っててよ」と鋭い指摘がはいる。そして転倒すると「もう、パパがちゃんと持っていないからでしょ！」と怒りの矛先がこちらに向かう。そんな練習を何日か続けているうちに自分で乗れるようになった。姉の時と同じ大きな達成感と喜びを感じることができた。その自転車は3年前に姉が乗っていたもので所々色落ちしていた。古くなったから小学生になったら新しい自転車を買おうね。

●4歳～6歳（年少～年長）小学校入学準備

●月曜と金曜 午後3時～5時

「～読み書き算数・思考力～」基礎から丁寧に

◆石川塾では小学校に入学したときに、教科学習にスムーズに取り組めるように「かず」「りょう」「かたち」の概念が理解できるところから「すいり」まで、**学習の基礎を丁寧に**教えていきます。また、子どものつまずきや、理解度に合わせた指導をしていきます。**※年長児4名が、かず・かたち検定ゴールドに合格しました。**

～幼児クラス(就園児)の授業の内容～※親子で一緒に学ぶクラスです

- ◎朗読暗唱…楽しみながら、リズムよく朗読暗唱♪絵本朗読もあります♪
- ◎ことばの取り組み…ひらがな・カタカナの読み書きの練習、言葉遊び♪
- ◎かたちの取り組み…パズル、パターンブロックなどで遊びながら学びます♪
- ◎かず・りょうの取り組み…くりあがり・くりさがりの計算まで進み、百ます計算へ♪
- ◎かず・かたち検定/算数検定の取り組み…学んだことをテストで確認！
検定対策指導あり！

◎就学前の取り組み…入学前に、読み書きや計算、時計の見方・順序・前後左右の位置などの知識を身につけます♪

◎白川静文字学に学ぶ漢字学習…正しい漢字の成り立ち、1年生の漢字♪

●2歳～3歳 親子で！入園準備

●月曜と金曜 午前10時～12時

～幼児クラス(就園前)の授業のながれ～※親子で一緒に学ぶクラスです

子どもが自分から集中して何度も繰り返す行動をよく観察し、環境と指導を提供します。

- ◎絵本のよみきかせ…おすすめの絵本♪
- ◎ことばの取り組み…カードなどを使いことばを学びます♪
- ◎かたちの取り組み…パズル、つみきなどで遊びながら学びます♪
- ◎かずの取り組み…つみきやブロック、知育玩具などで学びます♪
- ◎りょうの取り組み…つみきやブロック、知育玩具などで学びます♪
- ◎その月・季節の取り組み…テーマをもとに、興味のあること学びます

●「小学校受験サポート」年少から・時間はご相談ください

◎プロフィール◎

★講師:わたなべ みつき

★2児の母(小学3年生…小学校受験 年長…幼稚園受験 女の子2人)

★資格:(公財)日本数学検定協会認定資格「幼児さんすうインストラクター」
ホームメイド・モンテッソーリ認定講師講座受講中(2021年1月取得予定)

★他に看護師国家資格あり 大学病院・療養型病院に勤務経験

★石川塾に6年前から親子で通塾し、石川塾長のノウハウを教わる

★石川塾にて「ワークショップ」「Weekly・Monthly」「千の声 VOICE」を担当

★子どもに教えているうちに、教えることが楽しくなり上記資格取得のため
インストラクター養成講座を受講し「幼児さんすうインストラクター」となる



漢字学習の取り組み♡



時計もよめるよ♡



お絵かきに夢中♡



大好きなパズル♡

子どもが何かを発見した時の“ニパッ♡” わかったときの“ニコッ♡”
と表情が輝く時間を体験しませんか。

生徒募集中！紹介者には謝礼あり！

体験授業は3回無料です。まずは授業体験を…お待ちしております。

お問合せは…TEL042-710-5768 読み書き算数 石川塾
担当:ワタナベミツキ

子ども・お母さんたちが借りて読んでいる本 (2020年4月～2020年6月)

2020年4月

子どもの集中を育てる
ぼくはイエローでホワイトで、
ちょっとブルー

大人の伝え方
関東大震災
スイーツ駅伝
ガラスの大エレベーター
こちらゆかいな窓ふき会社
わにわにのごちそう
でんしゃにのって
失敗図鑑
2年生のよみもの
ももこの21世紀日記
フットボールネーション
わるいことがしたい
しゅっぱつしんこう
わにわにのおふる

こども六法
中学入試慣用句・ことわざ
川は生きている
巨大空港
フットボールネーション
101 びきわんちゃん大行進
新型コロナウイルスのサバイバル

2020年5月

生まれたときからせつない動物図鑑
歴検 4級
歴検 5級
死のハープほか
ふゆのほし
あきのほし
ロボット世界のサバイバル
七色インコ

本当にあった？恐怖のお話
こども「学問のすすめ」
ニッポン全国和菓子の食べある記
アナキズム・イン・ザ・UK
シェイクスピア物語 (下)
東京ひとり歩き ぼくの東京地図
自然図鑑
ノーベル賞受賞者にきく子どものなぜ？なに？
新型コロナウイルスのサバイバル
おしりたんてい かいとうとねらわれたはなよめ
本当にあった？恐怖のお話
ロボット世界のサバイバル
君たちはどう生きるのかの哲学
おしりたんてい かいとう VS たんてい
なまけてなんかない！
わにわにのおふる
さよならさんかく

2020年6月

文明の迷路
世界のともだち ベトナム
世界のともだち カンボジア
なんかへんな生きもの
ロボット世界のサバイバル③
三陸海岸大津波
夢十夜
きりみ
輪切り図鑑 クロスセクション
ウォーリーをおえ！タイムトラベラー
プリニウス⑥
プリニウス⑦
プリニウス⑧
ヴィオラ母さん
医者が教える食事術

本当にあった？恐怖のお話
自然史ミュージアムのサバイバル
世界の果てでも漫画描き①キューバ編
イタリア家族 風林火山
イタリア家族 大家族生活
世界の果てでも漫画描き②エジプト・
シリア編

人形に片目をとじて
ドラえもんの記事題がわかる
ロボット世界のサバイバル①
ほめるな
学研の図鑑 昆虫
どろぼうがっこう ぜんいんだつごく
とけいのほん①
とけいのほん②
漢字検定2級 試験問題集 2017
シェイクスピア物語 (上)
ロボット世界のサバイバル
気がつけば動物学者三代
だれかな だれかな？
ももこの21世紀日記③
ももこの21世紀日記⑤
ももこの21世紀日記⑥
ぶたのたね
あなたのいえ わたしのいえ
りゆうがあります
テルマエ・ロマエ I
テルマエ・ロマエ II
シェイクスピア物語 (上)
宝島
昆虫世界のサバイバル
海のサバイバル
新型コロナウイルスのサバイバル②

石川ライぶらい

石川先生が2020年読んだ中からおススメの人と本を紹介します

◎谷口ジロー◎「歩く人」/「父の暦」/「はるかな町へ」/「冬の動物園」/「樺の木」/「千年の翼百年の夢」/「いざなうもの」/「犬を飼う 猫を飼う」/「捜索者」/「神々の山嶺」上中下(原作:夢枕獏)/「孤独のグルメ」(原作:久住昌之)/「孤独のグルメ」2(原作:久住昌之)/「餓狼伝」(原作:夢枕獏)/「荒野より」/「エミネーゴ」/「散歩もの」(原作:久住昌之)/「センセイの靴」①(原作:川上弘美)/「『坊っちゃん』の時代」第一部～凛冽たい近代なお生彩あひ明治人～(文:関川夏央)/「秋の舞姫『坊っちゃん』の時代」第二部(文:関川夏央)/「かの蒼空に『坊っちゃん』の時代」第三部(文:関川夏央)/「明治流星雨『坊っちゃん』の時代」第四部(文:関川夏央)/「不機嫌亭漱石『坊っちゃん』の時代」第五部(文:関川夏央)/「犬を飼うと12の短編」/「ブランカ」1・2/「神の犬」1・2/「事件屋稼業」1・2・3・4・5・6(共作:関川夏央)/「描くよろこび」/「描くひと」/「谷口ジロー画集」

◎水村美苗◎「続明暗」芸術選奨新人賞/「私小説 from left to right」野間文芸新人賞/「本格小説」読売文学賞/「増補 日本語が亡びるとき～英語の世紀の中で～」小林秀雄賞/「母の遺産—新聞小説」大佛次郎賞/「日本語で読むということ」/「日本語で書くということ」/辻邦生氏との往復書簡「手紙、葉を添えて」…国語教育は日本近代文学を読み継がせるのに主眼を置くべきだ

◎麻宮ゆい子◎「敬語で旅する四人の男」/「仏像ぐるりのひとびと」/「碧と花電車の街」/「世話を焼かない四人の女」/「捨て猫のフリンアラモード ～下町洋食バー高野～」…昭和37年17歳の少女の上京物語…人って、ご飯って、こんなにあったかかったんだ…

◎小平邦彦◎「幾何のおもしろさ」/「幾何への誘い」/「怠け数学者の記」/「ボクは算数しか出来なかった」…学校教育の国語と算数の授業時間の大幅な減少に伴う基礎学力の低下を訴え/論理的思考を養う「幾何」のおもしろさ復権を説く/日本人初のフィールズ賞受賞

◎最相葉月◎「理系という生き方 東工大講義」/「調べてみよう、書いてみよう」…北九州市が創設した「北九州市子どもノンフィクション文学賞」の選考委員でもある著者が小学1年生から中学3年生までの入賞作品を取り上げ興味関心あることを調べ書くことの具体的な手引

◎相良敦子◎「お母さんの『敏感期』～モンテソーリ教育は子を育てる、親を育てる～」/「お母さんの『発見』～モンテソーリ教育で学ぶ子供の見方・たすけ方～」…子育てのキーワードは「じりつ」/家庭でできる手づくり教材/子育てに大事な5つの教訓をお母さんへ伝える

◎林新/堀川恵子◎「狼の義～新 犬養木堂伝～」司馬遼太郎賞受賞…西南の役の従軍記者時代から始まり5.15で斃れるまでの物語

◎牧村健一郎◎「評伝 獅子文六～二つの昭和～」…横浜・大森・千駄ヶ谷・四国岩松・御茶ノ水・大磯・赤坂…懐かしい場所時代を辿る

<<石川塾の肝心要 ~要旨要約~>>

□石川塾の肝心要 ~自分で生きていくための要旨要約~

皆さん要旨要約をご存知ですか？石川塾では授業の前に要旨要約をやります。まず全体を通してどういった物語なのか20字程度で書きます。そして具体的に、またこの物語が伝えたかったことを200字で書くというものです。石川塾では夏目漱石の夢十夜の第一夜が最初の題材です。この物語は男が死んだ女を100年待つ話とでもいいでしょうか。すごく独特なお話で初めの題材としては難しいかもしれません。ただ慣れてくるととても面白いものになります。まず自分では手に取らないような本を読めてそれが知識に繋がりとそこから大切な部分を抜き出しそれが取捨選択の上達に繋がります。また本から学ぶことは沢山あります。例えば私がすごく考えさせられた題材は“人にはどれだけの土地があるか”という物語です。自分が歩いた分だけ土地をもらえる、そのかわり夕暮れになるまでに歩き始めた場所に戻って来ることが条件というお話です。この物語では人の強欲さがわかりやすく描いてありとても読みやすく考えさせられるものになっています。沢山の本を読み自分の考え方が変わることさえあります。すごく自分にとってプラスになるもので石川塾ならではです。物語以外にも論文のようなものもあります。論文といってもそんなに堅苦しいものではなく私たちの生活をよりよくしてくれることが書いてある参考書みたいなものです。齋藤孝の本です。この本で私の考え方はガラリと変わりました。“やるべきことはやろうと思ったらすぐ行動する”私はこれを読むまでギリギリまでやらずにいた人間でした。さらにやるまでにすごく時間がかかっていました。けれどこの本にやろうと思ったらとていえず体を動かし始めるといいということが書いてあったため実践してみるとすぐやる気になりました。こんな本も要旨要約します。悪い習慣や自分の考え方が変わり要旨要約の力がつくなんて一石三鳥くらいありますね。石川塾では勉強だけでなくこういった力もつけさせてくれます●マイさん(高1)からのVOICE■

□石川塾・塾生の200字要旨要約文(齋藤孝「理想の国語教科書」青版/赤版/緑版より)

■志賀直哉「清兵衛と瓢箪」

一文要約:清兵衛が十銭で買ってみかいた瓢箪を骨董屋が最終的に客に六百円で売の話。

本文抜粋:骨董屋は「五円やったら貰うとこう」と云った。小使は驚いたが、賢い男だった。何食わぬ顔をして「五円じゃ迎も離し得やしえんのう」と答えた。結局五十円で漸く骨董屋は手に入れた。小使は教員からその人の4ヶ月分の月給を只貰ったような幸福を心ひそかに喜んだ。が、彼はその事は教員には勿論、清兵衛にも知らん顔をして居た。然しその賢い小使も骨董屋がその瓢箪を地方の豪家に六百円で売りつけたことまでは想像もつかなかった。●ナオキ君(小5)の要旨要約■

■太宰治「走れメロス」

一文要約:人間不信の王がメロスとセリンヌンティウスの友情にふれて人を信じることを学ぶ話。

本文抜粋:縄を打たれたセリンヌンティウスは釣り上げられてゆく。メロスは「彼を人質にした私は、ここにいる」と、かすれた声で叫びながら、友の両足に、齧りついた。セリンヌンティウスの縄は、ほどかれたのである。「ありがとう、友よ」二人同時に言い、泣いた。暴君ディオニスは、こう言った。「おまえらは、わしの心に勝ったのだ。どうか、わしも仲間に入れてくれまいか。おまえらの仲間の一人にしてほしい」どっと群衆の間に、歓声が上がった。●タクマ君(小6)の要旨要約■

■ヘレン・ケラー「わたしの生涯」サリバン先生

一文要約:ヘレン・ケラーが水に触れることによって物には名があると理解する話。

本文抜粋:忘れることのできぬ日は、サリバン女史が来た日です。ある日、サリバン先生はw-a-t-e-rが水であることを教えるため、苦しめたのです。日向に出かけると知ったのでした。先生は水が手を流れている間、「水(ウォーター)」という語をつづられました。こうして物には名のあることがわかったのです。帰った時、手に触れるあらゆる物が、躍動しているように感じました。私は生まれて初めて、新しい日を待つことを知りました。

●ユウキ君(小6)の要旨要約■

■立川文庫「猿飛左助」

一文要約:佐助が三年間修業に励むと其の極意に達することができた話。

本文抜粋:「フーン、妙な事を云ふ老爺だ。鰯や比耳目じやあるまいし、後に目があつて堪るものか。夫こそ化物じや……然し大方油断をするな。八方へ気を配れと云ふ事なんだらう」そう云う塩梅で毎日毎夜一通りならぬ稽古を受け、丁度三年許り修業すると、今は早や左助も全く其の極意に達し、暗夜でもありありと物を見へる。鳥の啼声こそ分らないが、十間二十間向方より忍んで来る人の足音は、歴然聞こへる様になつて来た。

●ミオさん(中2)の要旨要約■

■トルストイ「人にはどれほどの土地があるか」

一文要約:パホームが土地をよくばったために力つきて死んでしまった話。

本文抜粋:村長がパホームのそばへ来て言う。「どこでもお好きなところをおとり下さい」パホームは、土堀りを手にして出発した。草原をめがけて歩き出した。立ちどまり穴を掘り芝を何段もかさねて入れた。そしてまたさきへ進んだ。いかにも地面がいいので思いきるのは惜しいわい。最後の力をふり絞り倒れながらも両手で帽子をつかんだが彼は死んで倒れていた。下男は三アルシンだけ墓場を掘り彼を埋めた。

●リオンさん(中2・カナダ在住)の要旨要約■

<<読み書き算数 石川塾 からの VOICE>>

<わかる・できる・喜ぶ・国語専科/算数数学専科/単元学習のススメ>

◆むずかしいことをやさしく/やさしいことをふかく/ふかいことをたのしく◆

石川塾の単元学習講座！月に4回4時間でクリアしていくことのできる講座です。苦手な単位や図形問題も、やさしく、ふかく、たのしく学べる石川マジック登場♡国語専科 22 講座・算数数学専科 22 講座ともに大人向け講座もあります。

- 希望する講座をいつでも受講できます(ひと月4時間)。
- 希望の曜日時間帯に受講できます(平日 15:00~21:00)。
- 通常授業と合わせて受講できます。(通常+専科受講料)。
- 親子別々でも一緒でも受講できます(受講料は個人別)。
- 副教材作り教材テキスト付きです(一部市販図書購入有)。
- ひと月目1講座4時間2000円(1時間500円)。
- 受講時間・期間の延長ができます(通常授業料の10%引)。
- 教材資料代施設費ひと月1500円(新規塾生)。

※専科コースは単元別・講座別に選択し受講しますので選ぶ際は塾長とよく相談してください。

中学受験生向けおススメ講座はこちら↓↓↓

■国語専科■1. イッキよみクイズ講座(名作シリーズ:クイズに挑戦!)/3. 名作あらすじ講座(名作シリーズ:ここが好き!)/4. 理想の国語教科書講座(原稿用紙に200字要旨要約)/11. 二元論で考える講座(上位難関校中学入試国語読解法(秘伝))/12. 公立中高一貫校講座(適性検査1:南多摩・相模大野ほか)/15. 漢検1級目指そう講座

■算数数学専科■2. 真珠いちもんめ講座(単位換算定規を作ろう)/4. コロコロ円高講座(円の転がり問題攻略法!)/5. くるっと一回転講座(回転体見取図攻略法!)/6. さいころすてーき講座(立方体切断面攻略法!)/11. 私立中学入試算数講座(玉川・共立女子第二・帰国生枠ほか2科)/12. 公立中高一貫校講座(適性検査2:東京・神奈川)

高校受験生向けおススメ講座はこちら↓↓↓

■国語専科■4. 理想の国語教科書講座(原稿用紙に200字要旨要約)/13. 高校入試国語講座(評論入門/小説入門のための高校入試国語)/14. 国語口語文法講座(言葉の決まり/言葉の使い方/言葉の知識)/15. 漢検1級目指そう講座(子供も大人も生涯チャレンジ!)

■算数数学専科■13. 描いて解く幾何講座(直線図形/円・三平方の定理/立体・座標)/14. 都立高校入試講座(一次二次関数・平面立体図形)/15. 数学授業実況中継講座(難関校高校入試の図形問題)/16. 大人のための教検講座(11級~3級合格まで)



□塾の遠足「ききたい」「たずねたい」「参加したい」(いつでもなんでも気軽にコール/☎042-710-5768)

●わが子と遊ぶ/わが子と歩む/わが子の歩み/わが子に学ぶ/鎌倉逗子葉山海浜を歩き土の道を歩く/塾の遠足はほぼ毎月/家族友だち知人どなたでも参加できます/2歳からの読み書き算数塾・大人のための石川ゼミ/本がいっぱい/の教室/夢中な本/午前・午後・夜間いつでもお越しください/お友達の写真はホームページでご覧になれます ■「町田 読み書き算数塾 石川ゼミ」検索 ■

●スタッフ・浅沼花音からの VOICE●小学生のときに石川先生から教わり楽しかった…。高校1年生になり11月からスタッフとして働かせてもらっています。子供たちが楽しく学習に取り組めるように一人ひとり話をよく聞き歩んでいきたいと思っています。(上掲写真右)

●編集長・渡邊光樹からの VOICE●読み書き算数塾・石川ゼミで講師を務めるようになり、教えることを考える日々の中で、石川塾長にお勧めいただいた大村はまの4冊の本を特集いたしました。子どもの勉強をみている保護者の方にも目から鱗が落ちる内容です/“世界のともだち”の特集は塾生のお母様が要約してくださいました。(要約:宮井京実)世界のともだちの日常をぜひ親子でお楽しみいただきたいです/“千の声 VOICE”発行にあたりいつもご協力いただいております皆様に心から御礼申し上げます。春号には塾生の一年を特集予定です。お子様の一年の成長の声を石川塾にお聞かせください。

□週刊でホームページの「new 体験学習ガイド」欄に(俳句と写真■写真:Kumi■/幼児教室/石川ゼミ)を掲載しています

●編集兼発行人・石川剛からの VOICE●大村はま先生はくことば・語彙の学習>で“心に刻まれる…おもしろいと思う、珍しいと思う、感心する、心が動く、…そういう状態のところへ漢字が入っていたらいい”と/最相葉月さんは「調べてみよう、書いてみよう」で“文章を書くには…自分が好きなこと、知りたいこと、伝えたいこと、やってみようことさえあれば、あなたの旅は始まり…読んでくれる人がいること——。それにまさる喜びはなく”それこそが書く原動力だと

□石川塾長に「ききたい」「たずねたい」「参加したい」(いつでもなんでも気軽にコール/☎042-710-5768)

□<2021年 新年号「千の声 VOICE」第11号>令和2年12月25日発行■HP「千の声ボイス」にバックナンバーを掲載

■〒194-0021 町田市中町1-30-8 菅井町田ビル2F/町高通り・税務署近く■☎042-710-5768